

〈ケア〉を考える会-岡山

— 参加の呼びかけ —

会の趣旨

▼岡山（倉敷）で、〈ケア〉について学び考える会を開催します。

〈ケア〉といえば、「看護」「介護」「世話」「支援」などが先ず考えられます。今、日本や世界で大きな関心と期待が寄せられています。ここがこの会の大きなテーマの一つになります。

そして、〈ケア〉は、もっと広くとらえることができます。たとえば広井良典氏は、ケアを「（人と人との）関係性」（人と人との「つながり」）とします。さらに、個人個人のつながりから、そのケアの深まりとして個人がコミュニティや自然やスピリチュアリティとつながって「一体化」していくような方向でもケアを考えます。そのうえで、「関係としてのケア」の「進化」として「ケアとしての科学」を唱えます。「『ケアの哲学』とでもいうようなものが必要」とも言います。

この会では〈ケア〉について、身近なところから理念的なものまで、そして、狭い意味から広い意味まで、幅広く考えていきます。

▼この会の参加者は、医療・看護・介護・福祉・教育などの現場、または地域や家庭などで〈ケア〉に関わっている方、大学や学校で〈ケア〉の教育・研究に携わる方や学んでいる方、さらに、その他、〈ケア〉に関心や関係のある方などです。

〈ケア〉に関わる人たちが学び交流することで、明日からの力を得る〈場〉となることを願います。

▼会では、課題図書を読んだり、または、人の話を聞いたりして、語りあいます。

そして、会の後には、会場近くの居酒屋で懇親会を開きます（希望者）。

学び、語り合い、そして、食べ、飲み、さらに、語り合う。この会は参加者の「つながり」を大切にします。

第1回「ケアを考える会-岡山（仮称）」は、とりあえず“お試し”の意味もこめて開催します。皆様のご参加をお待ちします。

■日時：**7月21日(日)16:00~18:00**

■会場：川崎医療福祉大学 本館 6階 6001 演習室（定員35名）

<http://www.kawasaki-m.ac.jp/mw/access/index.php>

※建物の1階（防災センター）から備え付けのスリッパに履き替えてお上がり下さい。

エレベーターで6階へ行きますと、降りた正面に案内標識があります。

駐車場を利用の場合は、福祉大学の職員・学生駐車場（病院とは道をはさんで反対側）をご利用ください。

1時間100円です。

■内容：清水哲郎『最期まで自分らしく生きるために』（NHK出版）
65頁までを読んで、思うこと・考えること、また、そこから連想・想起・発想する諸々について、語り合います。

この本は、2012年7~9月NHKラジオ「こころをよむ」シリーズで放送されたもののテキストです。

書店の棚にはないかもしれません。ネットショップなどで発注すると手に入ります。

■懇親会……終了後に、会場近くの居酒屋で懇親会を開きます（希望者）

■呼びかけ人

大賀由花（赤磐医師会病院、透析療法指導看護師）

河合清志（社会福祉士）

小林真美

清水昭雄（管理栄養士）

田中順子（川崎医療福祉大学リハビリテーション学科、作業療法士）

林道也（社会福祉士）

平松邦夫（社会福祉士）

松川絵里（カフェフィロ副代表／大阪大学 CSCD 特任研究員）

山本広美（社会福祉士）

■参加申し込み・問い合わせ

884michiya@gmail.com 090-5366-1497(林)

★参加申し込みをお願いします（氏名・連絡先を明記）⇒満席になりお断りする場合にのみ連絡します。

